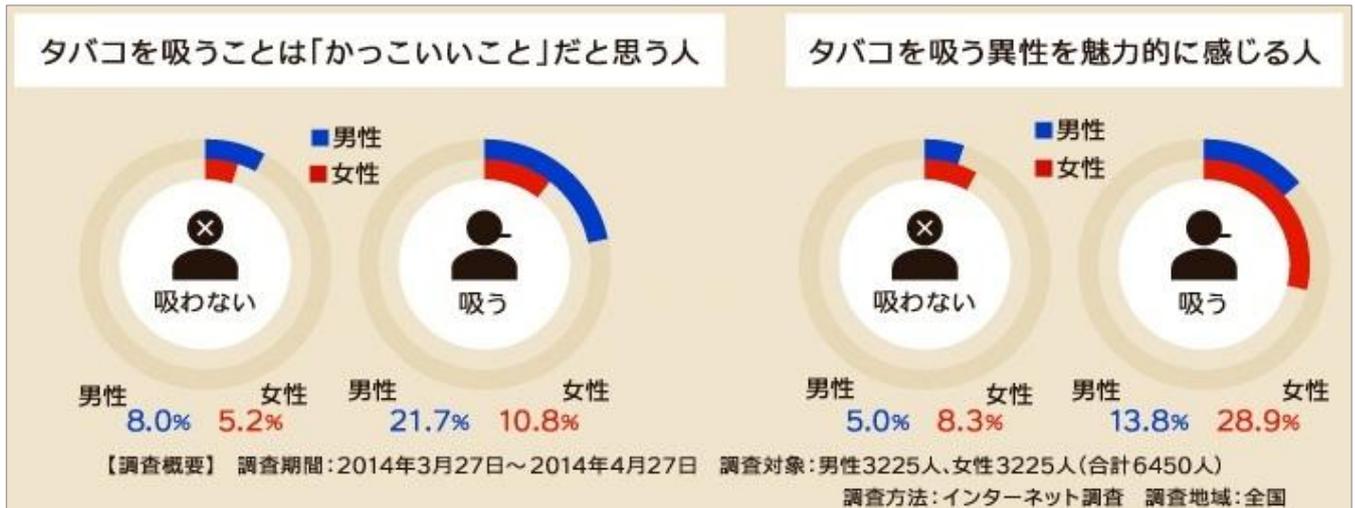


# 週刊 タバコの正体

昨年、君たちに答えてもらったタバコに関するアンケートの事を覚えてくれているでしょうか。その結果によると「タバコを吸うのは、カッコ悪い」と思う人が57%もいました。対して「タバコを吸うのは、カッコいい」と感じている人は5%しかいませんでした。じつは、ある会社が行ったタバコに関する意識調査(下図)でも同じような結果になっています。



アイオイクス㈱ ～タバコに関する意識調査～ より

この調査では、自分自身がタバコを吸っていない人で「タバコはカッコいい」と思っているのが男性で8.0%、女性で5.2%でした。この結果は君たちの意識とほぼ同じで、ごく少数です。ところが自分自身が喫煙者の場合は「タバコはカッコいい」と思っている人は少し多くなっています。また、「タバコを吸う異性に魅力を感じる」と思う人も、タバコを吸わない人より吸う人の方が多くなっています。

自分自身がタバコを吸わなければ、タバコに魅力を感じないのは当然ですが、喫煙している人のなかでも「タバコはカッコいい」と思っている人は男性で21.7%、女性で10.8%しかいません。言うことは喫煙者たちでさえ、その多くは「タバコはカッコいい」と思っていないのです。

今から20年以上も昔、有名な俳優がタバコを吸うテレビCMが数多く流れ、ドラマや映画にも喫煙シーンは普通に登場していました。そんな時代に成人した君たちの親世代の人たちには「タバコはカッコいい」というイメージが植え付けられた歴史がありました。しかし、現代ではタバコのCMは一切流れる事はなく、喫煙シーンを見ることも少なくなりました。そのお陰で、「タバコはカッコいい」と思う人はどんどん減っているわけです。

「タバコはカッコいい」時代はタバコの歴史として残りますが、現代人のタバコに対する意識をみると、これから将来にかけてそんな時代が来ることはないでしょう。

産業デザイン科 奥田 恭久